

【第1回療育研修会】

□開催日：2023年10月28日（土）

□内容：

<第1部>（13：30-14：45）

療育センター所内見学会

<第2部>（15：00-16：30）

講演会 「ASD児・者の支援を考える」

講師 新井 豊吉 先生

（東京家政大学こども支援学部こども支援学科特任教授）

4年ぶりに対面での療育研修会を開催しました。コロナ禍で直接会う機会が激減していた県内の障がい児者の支援者たちと顔を合わせ、今後の支援のあり方考える機会として本研修会を企画しました。第1部では中々見て頂く機会のない所内の見学会を行い、当センターの診療や事業所について知って頂く機会を設けました。第2部では福井県で障がい児者教育の指導や福祉施設でスーパーバイザーとして活動されていた新井豊吉先生に『ASD児・者への支援を考える』をテーマに、支援を行ううえでのアセスメントの重要性、一人一人のニーズに応じた支援の必要性などについてご講演頂きました。

□参加人数

※第2部に関しては、オンライン、オンデマンド配信を実施。

| 会場 | オンライン | オンデマンド |
|-----|-------|--------|
| 44名 | 15名 | 90名 |

□参加者の声（一部）

<第1部>

- ・センター内でどのような内容の療育を受けているのかなどイメージがわいた。園での保護者対応に役立てていきたい。
- ・視覚支援の様々なやり方が見れてよかった。
- ・来たことがなかったので、どんなことに取り組まれているのかが、よくわかり、今後の連携の仕方などがわかり、ありがたい機会になりました。
- ・どのような意図で遊具やおもちゃを選んでいるのか、想像しながら見学させていただきましたが教えていただければ良かったと思っています。
- ・次回は実際に療育されているところも見学したいです。絵カードなども、写真を撮らせて頂けると、参考にしやすいと思いました。
- ・言語聴覚士の方や、理学療法士の方からお話をお伺いする機会はなかなかないので、貴重な体験ができました。

<第2部>

- ・みんな一緒にとの思いが強すぎなかったか、反省しました。一人ひとりが生きやすく支援することの重要性を感じました。動画があったことで、理解が深まりました。
- ・新井先生の特別支援教育は、子ども発信、子ども中心というのが、よくわかりました。動画がとてもわかりやすく、おもしろかったです。
- ・もっと大勢の支援者に聞いていただきたい内容でした。大変勉強になりました。参加出来てよかったです。
- ・自分の保育を見直せるいい時間となりました。また冰山モデルを使って考えることの大切さを感じ、忙しさからアセスメントをしないではなく、しっかり捉えていかなければと思いました。ありがとうございました。
- ・保育者の思いの押し付けにならないよう、子どもたち個々に沿った活動、支援をしたいと思いました。また、そのような保育のためにはやはりもっと人手があると良いなど感じました。

